

ちばのキラリ商品支援事業【新規】

6月補正予算額 33,500千円

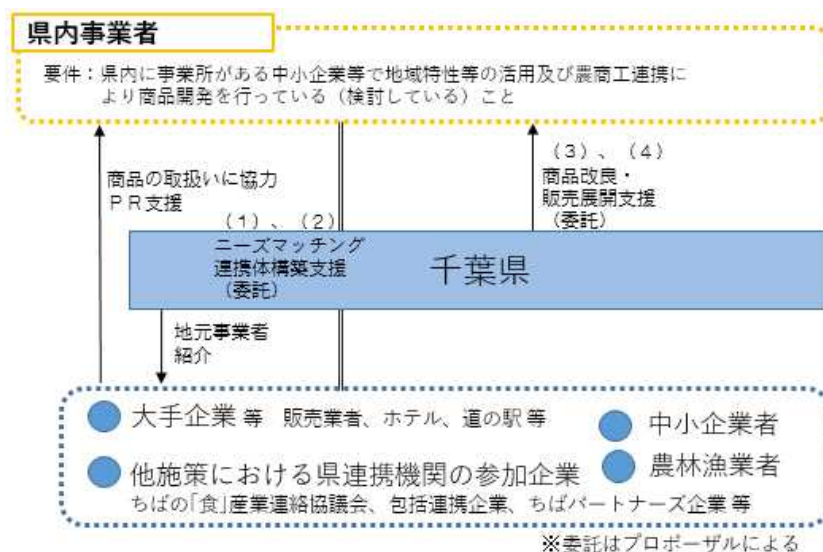
1 事業の目的・概要

県内中小企業による県産農林水産物などの地域資源を活用した商品の開発や販売展開を支援するため、小売店等の商品ニーズと県内中小企業の生産・加工技術等をマッチングするとともに、消費者ニーズを捉えた商品改良につなげるためのテストマーケティング等を行います。

2 事業内容

- (1) ニーズに合わせた商品開発・改良を行うための商談会の開催 5,400 千円
 大手販売事業者や県産農林水産物の生産者等のニーズを把握した新商品の開発(改良)が行えるよう、商談会を開催します。
- (2) 地域連携コーディネーターの配置等 11,100 千円
 商談会に向けてのアドバイスや開催後のフォローアップのほか、地域内の連携を促進し、地域のブランド力を強化するためのワークショップや個別のマッチング等に対応できる体制を整備します。
- (3) 県内外でのテストマーケティング 7,600 千円
 商品の認知度向上を図るとともに、販売実績や消費者の声を事業者にフィードバックし、更なる商品開発や販売戦略の見直しにつなげるための販売イベント等(テストマーケティング)を行います。
- (4) テストマーケティングの結果を活用したコンサルティング 9,400 千円
 テストマーケティングと併せ、事前研修、実施後のフィードバックを踏まえた商品のブラッシュアップ、営業ツール(商品プロフィールシート)の作成等のコンサルティング支援を行います。

〔事業イメージ〕



「ちばのキラリ」ロゴマーク

担当課・問い合わせ先
 商工労働部産業振興課

043 - 223 - 2726

梨・カラー新品種PR事業【新規】

6月補正予算額 8,000千円

1 事業の目的・概要

千葉県が12年かけて育成した梨新品種「千葉K3号」(愛称:秋満月(あきみつぎ))、10年かけて育成したカラー新品種「千葉C2号」(愛称:未定)のデビューにあわせ、デビューイベント等を開催し、PR活動を実施します。

2 主な事業内容

千葉県独自の梨新品種「千葉K3号」、カラー新品種「千葉C2号」の認知度向上を図るとともに、生産拡大に向けた機運の醸成を図るため、ロゴマークの作成や愛称等を活用した販促資材の作成、デビューイベントの開催等、様々な機会を通じたPR施策を展開します。

梨新品種「千葉K3号」の特徴

- ・果実が大きく、果肉は柔らかくなめらかで、果汁はたっぷり。
- ・甘みが強く、酸味が少なく、食味はとても良い。
- ・日持ちする(常温で28日)。
- ・晩生の品種(9月中下旬から収穫できる)。

カラー新品種「千葉C2号」の特徴

- ・花は小ぶりで、ややクリームがかった白色。
- ・茎は細く、収穫本数が多い。
- ・従来の栽培品種(ウェディングマーチ、アクアホワイト)よりも収穫開始時期が早い(10月頃から)。
- ・フラワーアレンジメントやブーケに使いやすい。



千葉K3号



千葉C2号

担当課・問い合わせ先
農林水産部流通販売課
043-223-2959

スマート農業技術高度化産地支援事業【新規】

6月補正予算額 2,500千円

1 事業の目的・概要

千葉県内における園芸産地の生産力強化を図るため、ICT（ 1 ）等の先端技術やデータを有効に活用するスマート農業機器を導入した施設園芸農家に対し、コンサルタントの活用等に係る費用を助成することで、スマート農業の推進を支援します。

2 事業内容

コンサルタントの活用等による技術習得に対する支援 2,500千円

施設園芸におけるスマート農業の導入効果を最大限に高めるには、専門家等を活用したコンサルティング（ 2 ）や座学形式の意見交換による、課題解決のために必要な知識の習得が有効であることから、本事業では、コンサルタントの活用や研修会の開催に係る経費に対して支援します。

- 1 ICT・・・コンピュータやモバイル端末を用いた情報交換・データ共有等の情報通信技術
- 2 コンサルティング・・・園芸施設等の現場で農業者が専門家と実物を見ながら対話をする中で、技術的・経営的な課題を明確にし、解決方法を導き出す手法

[事業主体] 農業者が組織する団体

[補助率] 1/2

[補助対象] 諸謝金、通信運搬費、会場借上料、資料作成費、印刷製本費 等



専門家を活用した
現場でのコンサルティングのイメージ



研修会のイメージ

担当課・問い合わせ先
農林水産部生産振興課
043-223-2882

スマート農業普及啓発事業【新規】

6月補正予算額 45,428千円

1 事業の目的・概要

農業の担い手を育成する農業大学校をスマート農業に係る情報発信の場と位置付け、各種研修の場とするためにスマート農業機器を導入するとともに、スマート農業機器の実演体験研修を実施します。

2 事業内容

(1) 環境制御ハウスの整備 42,340 千円

環境制御装置を設置した養液栽培用ハウスを整備します。

(2) 牛行動管理システムの導入 2,813 千円

牛の首に着けたタグの内蔵センサーで牛の行動をリアルタイムで収集分析し、発情や疾病等の兆候を「見える化」するシステムを導入します。



(牛行動管理システム)

(3) スマート農業実演体験研修の実施 275 千円

農業大学校における農業機械基本研修の一環として、関連機械の実演体験研修を実施します。

【参考】

千葉県立農業大学校の概要

開校：昭和54年

所在地：(本校) 東金市家之子

建物・施設 7ha、実習農場等 8ha

(農業研修施設) 東金市油井 実習農場等 4ha

(農業機械化研修施設) 千葉市緑区 運転技能研修コース 4ha

定員：農学科 修業年限2年 各学年80名

研究科 修業年限2年 各学年20名



担当課・問い合わせ先
農林水産部担い手支援課
043-223-2904

スマート畜産推進事業【新規】

6月補正予算額 15,000千円

1 事業の目的・概要

畜産業における生産性の向上と作業時間の短縮を図るため、スマート農業技術の導入を促進し、また、関係機関が連携したスマート技術の指導の体制をモデルとして構築することで、スマート農業技術の普及・定着を目指します。

2 事業内容

(1) 酪農導入支援事業 10,000千円

酪農家の長時間労働の改善のため、ICTやAIによる情報収集・分析技術、ロボット化等の技術を導入し、作業時間の短縮や生産性の向上を図る取組を支援します。

[事業主体] 千葉県酪農農業協同組合連合会

[補助率] 1/3以内

[補助対象] 労働時間短縮等に資する機械・装置等のスマート農業技術の導入

(2) 和牛繁殖支援事業 5,000千円

和牛の繁殖の成績を向上させるため、スマート農業機器の導入を推進するとともに、関係機関が連携した高度なスマート農業技術の指導体制のモデルを構築し、スマート農業技術の普及・定着を目指します。

ア 繁殖成績向上のためのICT機器導入 3,000千円

[事業主体] 千葉県肉牛生産農業協同組合

[補助率] 1/3以内

[補助対象] 繁殖成績向上に資するICT機器の導入

イ 繁殖成績向上のための支援体制構築 2,000千円

[委託内容] ICT機器を活用した分娩間隔短縮のための検討・指導



餌寄せロボット



発情発見装置

担当課・問い合わせ先
農林水産部畜産課
043-223-2939

外来種特別対策事業

6月補正予算額 7,000千円
 (当初予算とあわせ 121,119千円)
 (R2当初 141,930千円)

1 事業の目的・概要

生態系や農林水産業等への影響を及ぼすおそれのある特定外来生物のうち、特に生息数の増加・生息域の拡大が著しいキョンについて、捕獲の強化に向けて、捕獲用の罠にICT機器を導入することによる省力効果の実証実験を行います。

2 事業内容

キョン捕獲へのICT機器導入 7,000千円

県が実施している捕獲事業において、獲物が罠に掛かったことを知らせるICT機器を導入することで、毎日の見回りに係る労力の省力効果について実証実験を行います。

県事業で得られた成果は次年度以降、市町村に対して広報し、ICT機器の普及を推進することで、罠の設置数を増やし、キョンの捕獲数の増加を図ります。



キョン



野生動物害防除会社ホームページより引用

ICT機器による自動通知の例

【参考】キョンの推定生息数と捕獲数の推移

(単位：頭)

年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
推定生息数	約 34,700	約 38,000	約 41,300	約 44,100
捕獲数	2,400	3,475	4,118	5,008

担当課・問い合わせ先
 環境生活部自然保護課
 043 - 223 - 2975

飼養衛生管理指導強化事業【新規】

6月補正予算額 14,200千円

1 事業の目的・概要

昨年度の県内における高病原性鳥インフルエンザの続発を受け、発生予防の大前提である飼養衛生管理基準の遵守徹底を図るため、農場の緊急点検を実施します。

2 事業内容

急性悪性家畜伝染病のリスクがある、豚・鶏を飼養する県内の全農場を対象に、民間獣医師による、飼養衛生管理基準の遵守状況確認のための立ち入り検査を実施します。

[委託内容] 県内の全養豚農場、養鶏農場における飼養衛生管理状況の確認及び指導

[負担割合] 国 1/2、県 1/2

立入時に確認する飼養衛生管理基準の一例



畜舎毎の専用長靴の設置
踏み込み消毒その設置



担当課・問い合わせ先
農林水産部畜産課家畜衛生対策室
043 - 223 - 2923

森林整備広域連携モデル事業【新規】

6月補正予算額 7,000千円

1 事業の目的・概要

県内の良好な森林環境を保全するための広域連携モデルの構築を行うため、都市部の市町村と森林が多い市町村をマッチングし、都市部と森林が多い市町村が連携して森林環境譲与税を活用した森林整備に取り組むモデル事業を実施します。

2 主な事業内容

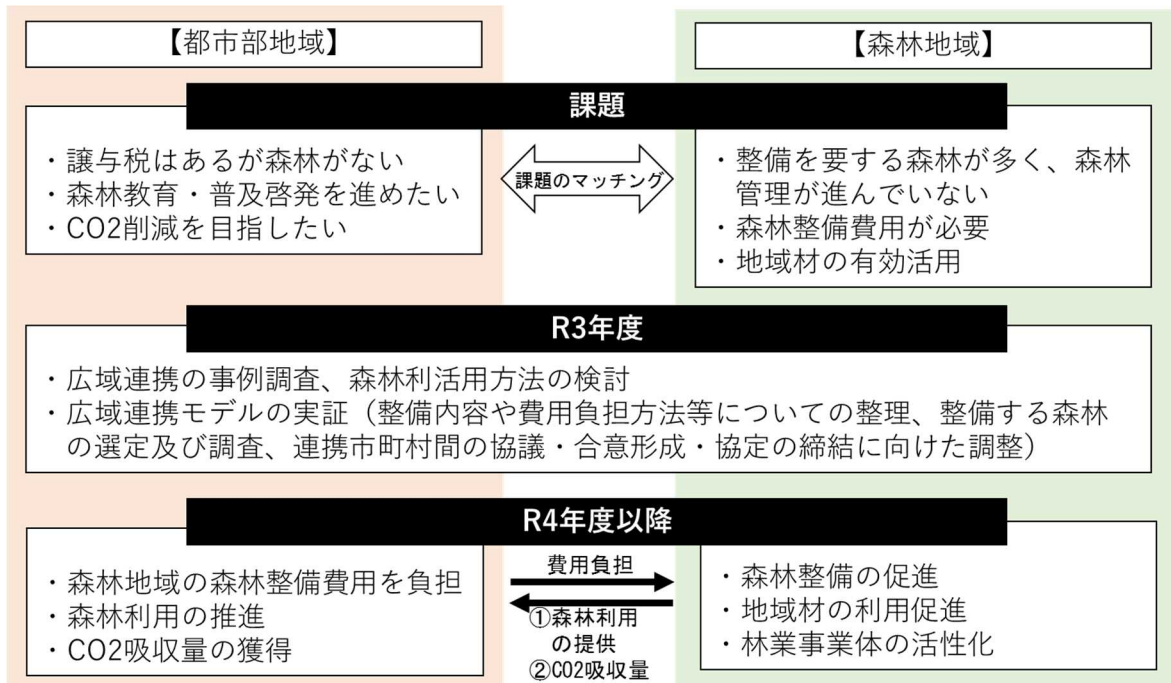
(1) 広域連携の事例調査、実施方法の検討

他県の先進事例を調査し、森林利活用手法や費用負担方法等の整理などを行い、県内における実施方法を検討します。

(2) マッチング支援と広域連携モデルの実証

広域連携の意向がある市町村同士をマッチングし、森林利活用方法や費用負担方法の調整、整備する森林の選定及び調査、合意形成に向けた調整など、連携に向けた支援を行います。

3 事業のイメージ



担当課・問い合わせ先
 農林水産部森林課
 043-223-2966

生産拠点漁港市場機能強化事業【新規】

6月補正予算額 23,115千円

1 事業の目的・概要

漁業者の収益向上を図るため、鮮度管理・衛生管理機能を有し、高品質で安全な水産物が供給可能な荷さばき所の整備に係る経費を助成します。

2 事業内容

館山漁業協同組合の荷さばき施設は、整備後52年が経過し老朽化が著しく、作業効率の低下や消費者の求める高鮮度の水揚げ物の提供にも支障が生じています。

そこで、水揚げ物の価値向上や作業効率の向上による漁業者の収益向上を図るため、消費者ニーズに対応可能な鮮度管理やHACCPの考え方を取り入れた衛生管理機能を有する荷さばき所の整備に係る経費を助成します。

3 荷さばき施設の詳細

[施設概要] 構造：鉄筋コンクリート造2階建

建築面積：1,107.38㎡

延床面積：1,600.28㎡

[事業主体] 館山漁業協同組合

[事業費] 事業費554,098千円（令和3年度～5年度）

[補助率] 県：1/10以内

国：2/3以内

[スケジュール] R3年度 実施設計（事業費30,151千円）

R4年度 } 本体工事（事業費523,947千円）

R5年度 }

R6年度 供用開始

完成イメージ図



担当課・問い合わせ先
農林水産部水産局水産課
043-223-3038